

宮城県国賠同盟の会員の皆さまへ

5月予定の国会請願行動を成功させましょう**謝罪・賠償・調査を求める国会請願に、
あと5筆、10筆の署名協力をお願いします**

宮城県本部事務局長 三島隆司

日頃のご活躍、大変ご苦
勞様です。

治安維持法犠牲者への謝
罪と賠償を求めて、私達は
運動を進めてまいりました。
これまで国会請願を行って
きましたが時の政権は一眼
だにしません。ことしは10
月までに総選挙・衆議院選
挙が必ず行われます。市民
と野党の共闘による連合政
権を目指し種々あらゆる分
野・機会をとらえ、この流
れで共闘し政権を転換し、
真に国民の期待に応える政
権の実現に日夜奮闘してお
られる事と存じます。

しかしながらコロナ禍の
なか集会や講演会は半減ど
ころかとりやめ延期・中止
で行動が制限され、対話に
よる署名活動も進んでおり
ません。このような状況下

で会員の皆さまの生活も制
約されておられるかと思い
ますが、自らが家族の方へ
の依頼、お隣近所の方々
への署名の依頼へのはたら
き掛けのご助力を、お願い
したいと考えております。

“再び戦争と暗黒政治を
許すな”と、1968年の
結成以来、「治安維持法犠
牲者国家賠償要求同盟」の
歴史的使命が、今ほど求め
られている時はありません。
県内各地に「治安維持法
賠償同盟」を確立し、『歴史
の逆戻りは許さない』『犠
牲者に賠償責任を果たす政
治の実現』を目指す世論と
運動を大きく広げようでは



No.561号付録
宮城版No.383

2021年3月

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
宮城県本部

980-0022
仙台市青葉区五橋
1-5-13
県労連会館3F
国民救援会気付
☎022-222-6458

学習講演会「こころざしをつたおれし少女(おとめ

尚絹女学院に学んだ伊藤千代子**5月30日(日)14時～**

エルパーク5F セミナールーム1・2

お話：藤田廣登さん

(国賠同盟中央本部顧問 伊藤千代子の会(在京)

「映画製作を支援する会」事務局)

ありませんか。

激動の情勢の下、皆さんに改めて心からのお願いをすることになりました。

戦後の日本は、憲法9条で「武力を持たず、使わず、戦争はしない」と世界に向かって宣言してスタートしました。それはアジアの2千万人の人々と日本国民320万人の犠牲の上に獲得できた希望でした。それから75年経った今日、安倍首相は七年八月月の間、憲法違反を承知の上で自衛隊を戦場に送る安民法Ⅱ戦争法を強行（2015年9月）し、まさに「憲法改悪のクーデター」を行いました。更に数による暴走を展開し、秘密保護法（13年）、盗聴法（16年）、治安維持法の現代版と言われる共謀罪法

（17年）、自衛隊のイラク派遣（19年）の強行など、国民の目と耳と口をふさぎ、自由と権利を侵し、モノ言えぬ監視社会への道を突き進んできました。100年前のスペイン風邪以来とされる新型コロナ問題で、「新自由主義経済」のゆがみが噴出しており、真に新しい政治と社会が切望される時代を迎えています。

国賠同盟の会員の皆さまへ同封の署名用紙へのご賛同を是非とも前向きにご検討頂き、署名への御協力をあらためてお願いする次第です。心からお願ひ申しあげます。

私の国賠同盟署名運動

小野ともみ

じ、女高師（現在のお茶の水女子大）に入学後社会科学の学習会に出席したことで、1回目逮捕されました。「無産者新聞」を隠し持っていたことで2回目、仙台でサークル活動をし女工さん達に接近したことで3回目、4回目の逮捕は「暗い時代に負けず、やがて来る明るい明日を信じてがんばりましょう。」と書いた手紙が原因で逮捕されました。2回目と3回目の逮捕では、激しい拷問も受けました。治安維持法は、戦争に突き進む体制をつくる上で、それに反対する人たちを根絶やしにするためにつくられた悪法です。戦後75年を経て、これまで治安維持法で犠牲になった人たち（この人たちは人生を変えられ

持法による犠牲者は10数名が御存命です。せめて、この方たちが生きている間に、謝罪をしてほしいと思っています。



自公政権を変えない限り私たちの要求は実現しないと考え、「市民と野党共闘」運動にも力を注いでいます。今年もコロナ禍ですが、署名をお願いします。宜しくお願ひいたします。

という文章を付けて、署名を呼びかけています。現在25筆していただきました。ささやかな活動ですが、ガンパロウと思います。

国会請願行動で思う

仙南支部 佐藤ひろし

私が最初に参加したのは、あの「3・11東日本大震災」の年の10月でした。県知事選挙のさ中で、佐藤一人で行きました。

石巻選出の議員の秘書は、私を廊下に押しもどして断るので「佐々木更三さんは我々にとって大切な人だが、彼のためにもあなた方も一緒になって、請願活動できるのではないか」というと「その人だれ？」「帰れ」と相手にされませんでした。

お詫び

1月号1ページに掲載した首藤直一郎さんの「書」を1962年1月としました。が、昭和62年1月（1988年）と訂正します。

首藤さんは、国賠同盟宮城県支部の準備会から、国賠同盟の発足に尽力され、「不屈」にも多くの「書」や「俳句」を寄せられています。

佐々木更三さんは、治安維持法下で、宮城一般労組や消費組合で闘った方です。後に日本社会党委員長を務めました。「民主党」の「治安維持法」に対する考え方を疑いました。

「誰が、治安維持法犠牲者か」と、我々は区別してはいません。「あの時代」を正確に見つめて犠牲者の方を顕彰する。治安維持法の政治を再び許さない。この活動は、たとえ異なった思想があっても共同できるはず。平和を願う全ての人に声をかけたい。

た）に対する謝罪も賠償も行われていません。国賠同盟は、国に署名を届けることで、謝罪と賠償も求め続けてきました。

治安維持法はかつてのことではありません。「共謀法」が創られ、「安民法制」の下、解釈改憲で、戦前の物言わぬ時代を再現しようとしています。安倍政権を継承した菅政権は、学術会議への6名の任命拒否を行いました。自由に学問を研究することのできない、自由にもいえない社会は、戦前の暗黒社会の再来です。

何故署名を毎年するのか？

国賠同盟はこれまで、900万筆もの署名を届けていますが、自公政権は一顧だにせず、お蔵入りにしているからです。現在、治安維

女性部・仙台支部合同 第9回近現代学習会

今回は、第7章「産業の発達と社会の変動」を学習。レポーターは一戸さん。参加者10名。

女性部・仙台支部学習会 第2弾 「日本近現代史を読む」⑨

今回は、農業生産を基礎とする江戸時代初期からどのように資本主義(産業の発達、そして産業革命に進んでいく)に発展していったのかを丁寧に学んだ。これまでのレポーターも触れてきたところだが、江戸時代、農業を基礎とする社会は、米の量(石高)で交

換価値を計っていた。米を増産しようとし、新田開発や農具や肥料などの農業技術の改良等で、生産力が向上した。商品作物も現れ、各地に特産物が生まれた。江戸時代の末期(19C前半)には綿織物業や絹織物業にマニユファクチュアが出現(工場制手工業)し、明治維新の直前には幕藩体制が弱体化していた。明治政府の産業振興政策は政府主導で行われ、紡績・製糸等をはじめ民間に払い下げる方式であった。軍需産業である重工業は軍直屬(陸軍工廠・海軍工廠)とし、造船・鉱山関係は三井・三菱・住友・安田・古河など、政商に払い下げ財閥の基礎をつくった。人と物(商品)を迅速大量に長距

離移動させる鉄道開設にも力を注ぎ、日清・日露戦争を経て国有化された。交換に用いる基準が物(米)から金・貨幣に移行していったが、明治政府は武士には金禄公債を交付し家禄廃止、農民に土地の売買の禁止を解いて地券を与え所有権を認める政策をとった。米での年貢を納めるのではなく、地価を算定し地価の100分の3を現金で納めさせることとした。1881年には金の銀も不足し、松方正義は兌換(金と紙幣とを引き換えること)紙幣とした。軍備拡張のため増税政策を取りテフレーションの結果、米価・繭価が暴落、小作料は収穫した米の半分以上であり、小作農民は高率・高額の小作料

(基本は物⇨米その他の農産物で、貨幣ではない)を払うため養蚕を行ったり、娘を出稼ぎ女工として製糸業や紡績工場に送り込むこととなった。ついに小作農民は没落して離村し、都市労働者になるものも増えた。小作農が手放した土地は地主に集まっていった。自由民権運動が激化し困民党等民衆蜂起が起きたのはこうした背景がある。農民の貧困は、低賃金労働を支えることになり、日本資本主義の特徴である資本家と地主の共存共栄⇨半封建制が1945年まで続いた。工場制工業の急成長で大量の賃金労働者が生まれた。繊維産業の労働者の中心は女工で、長時間労働・劣悪な労働環境の中で働かれ、

肺結核等健康を害していった。労働環境、労働条件改善のための労働組合が結成されていった。1900年には治安警察法が制定され、労働者の団結団体交渉、争議を禁止する。ヨーロッパからの社会主義思想を学び、1900年社会主義協会、1901年社会民主党を結成したが、直ちに結社の禁止処分を受けた。しかし、労働争議は急増し、規模も大きくなっていった。足尾銅山争議では、弾圧のために軍隊が出動した。1910年の大逆事件によって、社会主義は「冬の時代」に。しかし翌年には青鞥社が発足し、「大正デモクラシー」へと時代は移っていく。明治政府は、教育を教化の場にしようとした。教科書は「国民鑄造の模範」だから研究に基づく必要はないという考え方が強まっていった。文部省唱歌も、西洋音楽に天皇制イデオロギーを盛り込み、国家祝祭日に天皇をたたえる歌を歌わせる等をした。

(小野ともみ)

今回は、3月19日(金) 14:00、仙台サポートセンターにて

『治安維持法と朝鮮』を読む

パンフ「治安維持法と朝鮮」の感想が、著者の横田会長のもとに寄せられています。「抜き書き」して、紹介します

鹿野文永さん

この度高言を賜りまして、誠にありがとうございました。治安維持法が朝鮮において猛威を振るった事実には、哑然としました。「他国民を愛する者こそ自国民を愛することが出来る」は、感銘深い言葉ですね。

朝鮮を思うと、「自ら滅びずして、滅亡した民族はない」との教訓がよみがえってきます。連日雪がちらついています。どうぞぞい自愛ください。

このたび新著「治安維持法と朝鮮」をご恵与いただきありがとうございます。布施辰治の活躍の軌跡が分かりやすく書かれており、大変ためになりました。こういう人が宮城から出たということは大いに誇りに思います。なお、詩人尹東柱(ユンドンジュ)のことも書かれておりますが、私は彼の詩集ばかりでなく、彼に関連した本を何冊か読んで、日本帝国主義の残虐さを思い知りました。憎んでも憎みきれない思いです。仙台ではコロナ感染がまた少しづつ増えてきているようで、くれぐれもご自愛ください。

詩人 齋藤紘一さん



同級生 土屋始彦さん

先日は「丁寧なお手紙と貴重な横田さんの著作本をお贈り頂き、ありがとうございました。興味深く拝読いたしました。

序言にありましたが、「宮城県と朝鮮・韓国との人々との深い絆」があると言ったことを初めて知りました。石巻出身の布施弁護士のお人柄と活動業績にも驚きましたが、安重根の碑が宮城県にあるなんて・・・大変驚きました。なぜ、栗原市にあるのでしょうか？ ホヤの事も知りませんでした。

・・・略

最近の日本の政治・行政が極端に右傾化・監視社会化が進んでいて、子・孫達の将来日本はどうなってしまうのか・・・心配しております。この様な状況下で大変重要な永く続く運動を引っ張っておられることに感服致しております。

・・・以下、略

同級生 中屋重勝さん

パンフレット送っていただき、ありがとうございました。

布施辰治のこと、それなりに聞いたりと読んでいました。宮城県としても誇りにしていい方だと思います。パンフの主題ではなかったようですが、安重根について関心があります。なぜ宮城県に碑があるのか、千葉さんとういう関係があるのか、教えてください。ただきたいと思います。

実は一昨年初、中国の東北旅行で、安重根が処刑された旅順の日露監獄を見てきました。安重根を記念した部屋があり、彼の写真や書が飾られています。その中には朝鮮の植民地からの開放を確信し、その時には天にいる自分にその知らせをしてほしいという趣旨の詩もあり、感動しました。伊藤博文を暗殺したハルピンにも行きました。が、残念ながら最近つくられた駅構内の記念館には行く時間がありません。

の原伸雄さんは「韓国や朝鮮への民族蔑視・ヘイトの一掃になれば」と書いた。

横田さんは序文で「宮城県ほど、朝鮮・韓国の人々と奇跡的ともいえる深い絆を抱いている日本人はいないのではないか」と指摘。同国の英雄・安重根の遺墨を刻み、裏面には山本莊一郎元宮城県知事の「建立の辞」を刻んだ「顕彰碑」が栗原市にあることや「大韓民国建国勲章・愛族章」を韓国から

友人 佐藤美代子さん

空と風と星と詩 尹東柱
わたしは 忘れない!

横田有史著「治安維持法と朝鮮」に尹東柱(ユンドンジュ)のことが載った。忘れずにいた東柱との再会にうれしかった。

...略
(尹東柱詩集「空と風と星と詩」の冒頭の詩を紹介します)

尹東柱 空と風と星と詩 金時鐘編訳

序詩

死ぬ日まで天を仰ぎ
一点の恥じ入ることもないことを
葉あいにおきる風にさえ
私は思い煩った
星を歌う心で
すべての絶え入るものをいとしまねば
そして私に与えられた道を
歩いていかねば
今夜も星が 風がかすれてないている

した。韓国や中国では日本帝国主義と闘った英雄として敬っているようです。

日本政府はハルピンの記念館がつくられた時にはテロリストを顕彰するのかと中国に抗議したことも記憶に残っています。いまだに、日本の帝国主義について反省どころか韓国に対する今の態度に見られる差別・植民地意識は治安維持法時代とあまり変わっていないように思えます。・・・以下、略

大堤沼だより 高見恒憲さん

・・・略

□強制労働の歴史とヘイトの現状の解明

仙台市議と宮城県議をつとめ、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟宮城県本部会長の横田有史さんが「今こそ求められている歴史的な検証・治安維持法と朝鮮」と題し、パンフレットを発行。推薦の言葉で同石巻支部事務局長

横田さんや原さん同様、民族蔑視と日本帝国主義に命をかけてたたかった布施辰治に対する顕彰や、安重根と千葉十七の長編叙事詩を、私は十数編綴ってきた。細倉小学校卒業生名簿から北朝鮮に帰った同級生を思い出したが、その別れから七十年経つ。強制労働とヘイトは鮮明に記憶に残る。

・・・以下、略

増刷出来!

パンフ「治安維持法と朝鮮」を増刷しました。

多くの方から感想が寄せられ、また各団体の機関紙等にも感想が寄稿されています。県本部、各支部の役員に、注文いただければ、すぐにお届けいたします



みんないっしょ
われらこそグローバル

年表 一九二八年（昭和三年）から一九四五年（昭和二十年）までの内外情勢と県内弾圧事件 作成 小田島森良

一九四一年（昭和十六年） 内外情勢

- 1・8 東条内閣が「戦陣訓」を通達
- 2・1 佐藤秀一らの共産主義者グループ検挙され、40年9月以来の活動挫折
- 3・1 国防法交付、国民学校令交付
- 3・10 改憲治安維持法交付（「予防拘禁」制度の追加など）西尾末広らも賛成
- 5・15 野坂参三、延安に日本労働学校を創立
- 6・22 独ソ戦はじまる
- 7・16 第二次近衛内閣総辞職、7・18第三次近衛内閣成立
- 7・ 「関東軍特別大演習」大軍を「満州国」に終結
- 8・ 野坂参三の指導下に日本人反戦同盟と党連盟（39年から華北で反戦活動を開始）とが統一して在軍日本人反戦同盟を結成
- 9・6 「御前会議」10月下旬を目途として対米・英・蘭戦争準備を完成させることを決定
- 10・15 尾崎秀実ら検挙、10・18ソルゲら検挙（ソルゲ事件）
- 10・16 第三次近衛内閣総辞職。10・16東条内閣成立
- 11・5 「午前会議」で12月初旬の対米英武力発動決定
- 12・1 「御前会議」で対米英蘭開戦を決定
- 12・8 天皇が開戦の詔勅、米英に宣戦布告。日本帝国主義が太平洋戦争を開始。ハワイ真珠湾攻撃。マレー半島上陸
- 12・8 米・英が対日宣戦布告
- 12・8 ドイツ軍、モスクワ攻撃に失敗

一九四一年（昭和十六年） 宮城県内

- 3・9 産業組合青年連盟の活動を左翼運動として弾圧
 - 尾崎都司也（30） 産組中央金庫仙台支部主事補
 - 佐々木其幸（27） 同
 - 河合 徹（31） 無職（元全農書記）
 - 山崎道雄（31） 全購連仙台出張所 懲役3年実刑
 - 梶川重光（32） 産組中央金庫主事補 （懲役3年執行猶予5年）
 - 5・26 宮城県産業報国会結成
 - 5・27 生活綴り方事件（生活主義教育）第二次弾圧事件）
 - 菅野芳治（女専書記） 鎌田孝（小学校訓導）
 - 五十嵐勝治（小学校訓導）
 - 11・4 文化団体「文芸懇話会」グループ弾圧事件
 - 小沼直寿（28） 印刷所事務員 鹿野二郎（印刷工）
 - 細野徳子（31） 河北新報事務員
 - 12・9 東北帝大生を中心とする朝鮮民族独立運動グループ弾圧事件（全員起訴さる）
 - 関泰嵐 南原英寿（黄彩淵） 徳山栄祚（李栄祚）
 - 新井鑄俊（朴鑄俊） 呉彰根 大原建鑄（李建鑄）
 - 金子太詰（金太詰）
- へ一九四一年（昭和十六年）内外情勢
- 12・9 金子健太、宮本百合子、守屋典郎ら396人いっせい検挙、拘束される。予防拘禁の名目で、全国的に12月中に1千人以上検挙
 - 12・11 ドイツ、イタリヤが対英宣戦布告
 - 12・19 戦時犯罪処罰特別法、言論出版集會結社等臨時取締法公布